

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	市域図経年変化修正事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	01 計画的な土地利用を進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法、測量法、地理空間情報活用推進基本法

【事業概要】

現状と課題	道路、建物等の地形地物の更新が地形図に反映されていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	秩序ある市街化の促進、都市機能の適切な誘導。
対象 ※誰、何に対して	市域全域
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	計画的な土地利用を進める上で重要な都市計画図の基本となる基盤図（デジタルマップ）を修正する。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	41,360 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	41,360 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	10 計画調査費
細目	030 市域図経年変化修正事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	41,360 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	引き続き定期的に市域図の更新を実施する。

事務事業名	市域図経年変化修正事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市域における経年変化区域	h a	0	0	13,848

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
業務委託進捗率	%	0	0	100
活動指標分析結果	業務委託は完了した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
デジタルマップの修正度合い	%	0	0	100	令和2年度	100
成果指標分析結果	デジタルマップにおける経年変化箇所修正は完了した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	都市計画基本方針策定事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	01 計画的な土地利用を進める
事業実施期間	令和元年度 ～ 令和4年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法

【事業概要】

現状と課題	少子高齢化の急速な進展などの人口構造の変化や拡大社会から成熟社会へ移行し、時代にあった都市計画が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市計画法第18条の2に基づき、本市の都市計画の基本方針である都市計画マスタープランを策定する。また、その内容を周知することにより、市民のまちづくりに対する関心を高め、市民参加のまちづくりを促進する。
対象 ※誰、何に対して	市域全域及び市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市総合基本計画、都市計画区域マスタープラン(兵庫県策定)の改訂にあわせて、パブリックコメント等を経て、都市計画マスタープランの見直しを行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	4,070 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,070 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	10 計画調査費
細目	010 土地利用計画事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	0 千円	4,070 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 引き続き都市計画マスタープランの改定作業を進める。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	都市計画基本方針策定事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
都市計画マスタープラン改定	回	0	0	0

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
都市計画マスタープラン改定業務委託	件	0	0	1
活動指標分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
都市計画マスタープラン改定業務委託	件	0	0	1	令和4年度	2
成果指標分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	市街化調整区域のまちづくり支援事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	01 計画的な土地利用を進める
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市都市計画法に基づく開発行為の許可の基準等に関する条例

【事業概要】

現状と課題	地区まちづくり計画等の策定が進み、集落地区において住宅等の建築が可能になり、地域コミュニティの維持に役立っており、都市計画の側面的支援としての取組みが進んでいる。開発許可制度とのより合理的な連携が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	対象地区の住民自らが地区の現状や課題について考えることにより地域力(自主性・自立性)の向上と住民同士の繋がりが築かれる。また、特別指定区域の指定により、住宅等の建築が促進され、Uターンや新規居住者の受け入れにより、集落のコミュニティの維持と活性化を図る。
対象 ※誰、何に対して	市北部に位置する志方町・平荘町・上荘町・八幡町の地元住民・土地利用
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	まちづくり協議会に対し、コンサルタント委託により専門家を派遣し、地区の将来構想や土地利用計画を定めた「地区まちづくり計画」の策定および、地域に必要な建築物を建てることのできる「特別指定区域」の指定の支援を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	5,096 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,096 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	055 市街化調整区域のまちづくり支援事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	3,138 千円	5,096 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>当事業による住民主体のまちづくり支援は、住民のニーズを把握し、適正で計画的な土地利用等の誘導を図るなど、市民と行政の「協働」による地域の課題解決に向けた取組みであり、総合計画など市施策への貢献度は大きいと考える。また、市北部の集落地区における市民の生活や事業環境を守る重要な役割を担っており、継続的に事業を維持していくことが適当と判断する。</p>

事務事業名	市街化調整区域のまちづくり支援事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
田園まちづくりを行った地区数	地区	36	36	37

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1地区当りのまちづくり協議会開催回数	回	1	5	5
1地区当りのアンケート・意向調査実施回数	回	1	1	1
活動指標分析結果	まちづくり協議会開催回数、アンケート実施については、コンサルタント委託による支援の中で順調に活動が行われている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
田園まちづくり制度による特別指定区域指定地区数	地区	36	36	37	令和2年度	58
田園まちづくり制度による建築物立地件数	件数	5	12	13	令和2年度	7
成果指標分析結果	活動指標同様に、コンサルタント委託による支援により順調に特別指定区域が指定され成果となっている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地区計画策定事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	01 計画的な土地利用を進める
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	地域が主体となってまちづくりに参画し地区計画を策定することで、良好な住環境の創出に取り組む地域がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域住民の主体的な参画のもと、景観に配慮したうるおいとやすらぎのある美しいまちづくりの実現を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川市景観まちづくり条例に基づき認定されたまちづくり協議会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地区計画の決定ほか土地利用転換に必要な図書作成にかかる調査費等の助成。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	1,339 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,339 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	060 地区計画策定事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	1,339 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	地区計画策定事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
まちづくりルール計画数	件	0	0	2
活動指標分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
地区計画等の指定地区数(累計)	地区	0	0	0	令和2年度	17
成果指標分析結果						